

瀬戸内Finder 人気記事TOP5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

- #1  岡山県「女子旅」にピッタリだ10の秘密
岡山県
- #2  迫力満点！愛媛の花火大会特集
愛媛県
- #3  瀬戸内の「多島美」絶景スポット8選
瀬戸内各地
- #4  山口県の超絶景マトメ8選！
山口県
- #5  夏に行きたくなる人気キャンプ場5選
山口県

メディア掲載実績

- せとうちDMO関連
2016年7月4日読売新聞
2016年7月8日中国新聞
- スイスファミリー瀬戸内
2016年7月11日交通新聞
2016年7月12日岡山放送
2016年7月13日瀬戸内海放送
2016年7月15日中国新聞
- JRせとうちキャンペーン関連
サンケイリビング新聞、
交通新聞、東京新聞、
日刊ゲンダイ、スポーツ報知、
トラベルニュース
- 海外プロモーション(台湾)
2016年6月号 Travel Trend News
2016年6月号 TRAVEL RICH
(AIR CHINA)
- 村橋事業本部長寄稿記事
2016年7月号IRC Monthly
(いよぎん地域経済研究センター)

“山陰インバウンド機構”と意見交換

6月24日、山陰へ国内外の観光客誘致を図り、山陰経済の振興および地域活性化に寄与することを目的として設立された「山陰インバウンド機構」より、福井代表理事をはじめ、スタッフの皆様が来訪されました。当日は、地方へ観光客の誘客を図ることで地方創生を目指すという同じ使命を持った組織として、今後の協力・連携について意見交換を行いました。



▲せとうちDMOオフィス来訪時の様子

2016年6月24日

せとうち松山ツーリズム推進会議へ参加

6月28日、松山市や広島市などの自治体、JR各社、船舶会社で構成する「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」の総会が広島市で開催され、せとうち観光推進機構、瀬戸内ブランドコーポレーションがオブザーバーとして参加しました。総会では推進会議が取り組む広島、松山地域を含めた観光商品開発やプロモーションについて説明が行われ、せとうちDMOからも、その取り組みについて説明する機会を頂き、今後の連携について参加者と意見交換を行いました。

▼愛媛と広島を結ぶ高速船
(スーパージェット)

2016年6月28日



みきゃん&にゃんよ 来訪

愛媛県イメージアップキャラクターの「みきゃん」とえひめ南予観光PRキャラクターの「にゃんよ」が、「えひめいよしの南予博2016」(愛媛県西南地域で11月20日まで開催)をPRするため、せとうちDMOのオフィスに訪れました。これまで色々な方がオフィスを訪ねてこられました。ゆるキャラの来訪は初！DMOメンバーも代わる代わる記念撮影を行いました。

2016年6月28日



▼愛媛出身の泉と浅山

台湾の観光・物産博に出展 “アート” “サイクリング”に興味津々

せとうち観光推進機構では初となる海外旅行博覧会に出展しました。台湾で開催された「日本の観光・物産博2016」は3日間で約120,000人が来場。機構からは海外プロモーションチームの北川、松村、増地が参加しました。瀬戸内ブースでは、瀬戸内7県の大きな地図を掲示し、おすすめ周遊ルートを紹介。来場者からは、瀬戸内国際芸術祭に関する問い合わせが多く寄せられ、「開催日はいつなの？」「船の時刻表はあるの？」といった具体的な質問もあり、瀬戸内国際芸術祭の関心の高さが伺えました。また、サイクリングに関する質問も多く、「レンタサイクルは車種やメーカーを指定できるの？」「サイクリングMAPはあるの？」という台湾サイクリストのニーズも把握できました。さらに、商談会では「創造旅行(株)」と商品造成を進めていくことが決まり、現地コネクション作りの大きな第一歩となりました。

2016年6月24日～26日



▲多くの来場者で賑わった瀬戸内ブース



▲左から松村、現地スタッフ、北川、現地スタッフ、増地



▲創造旅行者の高橋専事長兼総経理(右)と北川(左)

トルコ・チャナッカレの会に参加し瀬戸内の魅力をアピール

トルコと日本の国際親善に寄与することを目的とする「トルコ・チャナッカレの会」にせとうちDMOから村木、リチャード、森原が出席。瀬戸内のプロモーションビデオを上映し、瀬戸内の印象を聞くと、多島美の美しさを評価する声が寄せられました。更に瀬戸内ファンになって頂くため、瀬戸内の観光コンテンツをプリントした折り紙、手拭いをプレゼントし、喜んでいただきました。2016年7月2日



▲剣玉を教える村木



▲折り紙、手拭いをプレゼントするリチャード

フランスのガイドブック「プティ・フテ瀬戸内版」の取材スタート！

せとうち観光推進機構では、フランスにおける瀬戸内エリアの認知度向上を図るとともに、フランスからの訪日旅行需要の更なる喚起を目指し、フランスの大手旅行ガイドブック「プティフテ」の『瀬戸内版』出版を計画しています(2017年3月出版予定)。7月11日(月)、神戸市内のホテルにおいてフランス人記者およびコーディネータとの取材開始に向けた打ち合わせを行いました。フランス人記者は、約1か月間にわたり、瀬戸内エリアの観光地等を取材する予定です。今後、各県・市町の皆さまにもご協力をいただきながら、瀬戸内の魅力をフランスの皆さまへ最大限お伝えできるよう出版に向けた作業を進めてまいります。



▲右からMaxime DRAY氏(記者) 神戸氏(コーディネータ)、村岡(機構)

2016年7月11日

スイス人ファミリーがキャンピングカーで瀬戸内を巡る！ TV取材依頼続出！

海外プロモーションの一環として、欧州からの旅行者が瀬戸内においてどのようなことに興味・関心をもつのかという動向を把握するため「スイス人ファミリーがキャンピングカーで瀬戸内を巡る旅」の企画に協力しました。瀬戸内エリアの訪問先を機構が選定。スイス人ファミリーは、山口県周防大島、香川県琴平町、徳島県三好市など、瀬戸内各県の観光地を10泊11日の行程で巡りました。「果物狩りは欧州でも体験したことが無いので新鮮、もう少し長く瀬戸内にいたい！」とご満足の様子でした。随所でファミリーが撮影した映像は、欧州の旅行会社に素材として提供されます。岡山のテレビ局からの取材依頼もあり、7月12日は岡山県赤磐市の桃狩りの模様を岡山放送様に、7月13日は岡山県鷲羽山から望む瀬戸大橋を楽しむ模様を瀬戸内海放送様に放送いただきました。



▲ふんだんに桃を採った4人兄弟



▲ファミリーと記者とリチャードの集合写真

2016年7月12日～13日

せとうち観光推進機構 理事会開催

せとうち観光推進機構の理事会が愛媛県松山市で開催され、事業の進捗状況の報告や、今後の予定について議論が行われました。理事会では、機構の取り組みは一過性の集客にあるのではなく、地域の皆様が輝く場を創ることにあること、そのために地域の皆様とのコミュニケーションが重要であるといった意見がありました。

2016年7月11日



▼理事会の様子

光のおもてなしin松山城2016

愛媛県松山市では7月6日から8月13日にかけてライトアップイベント「光のおもてなしin松山城2016」が開催されています。

このイベントは、松山市が中心市街地の活性化や、松山・広島の間地域間交流促進を図ることを目的に、広島市や関係団体の協力を得て実施。広島市の冬の夜をライトアップで彩るイベント「ひろしまドリミネーション」で使用しているオブジェを、夏の期間松山城に移設し、登城道や石垣を光の散歩道として演出しています。地域間連携はせとうちDMOとしても取り組むべき内容であり、今後、こうした事例が広がるよう活動して参ります。2016年7月6日～8月13日



▲松山城



▲フェニックス

市町村の
取り組み
紹介！

近畿大学主催の「DMO人材育成プログラムの検討会」に参加

近畿大学において、今後の国内DMOにおける専門人材育成のためのプログラムを検討する「観光地経営を担う日本版DMOの人材育成プログラム事業」がスタートしました。この度、第1回の検討会議が大阪で開催され、その検討メンバーの一員として、せとうちDMOから村木(機構)が参加しました。国内DMOのパイオニアとして、実践現場で感じる課題や今後の可能性について意見を述べるなど、プログラムの検討を行ってきました。今後も、国内のDMO発展、更には観光産業を通じた国内経済の活性化の一助となるよう、様々な場面で貢献していきたいと考えています。

2016年7月16日



▲検討会の様子

「せとうちキャンペーン」関連ニュース

●プレスツアーの開催

6月29日・30日の2日間、JR西日本及び広島県観光連盟と連携し、「せとうちキャンペーン(CP)」と「世界遺産20周年」をテーマとしたプレスツアーを実施しました。当日は首都圏・関西から20社21人の新聞・雑誌社の記者が参加し、鞆の浦・しまなみ海道・呉・宮島・平和公園を視察しました。

当日はあいにくの雨模様の中視察が始まり、しまなみ海道のサイクリング体験は体験できませんでしたが参加者の祈りが通じ、早々に雨が上がり、呉湾の艦船クルーズ「タ呉クルーズ」や呉の屋台などを満喫してもらいました。翌日は「呉～宮島ブルーライン」と宮島観光、帰りは平和公園まで「世界遺産航路」と瀬戸内の船による新たな周遊観光をアピールしました。また平和公園では今年秋オープン「おりづるタワー」や「オバマさんの折り鶴」など盛り沢山の観光素材を取材し、記者も大満足のプレスツアーとなりました。

せとうち観光推進機構では、今後とも各自治体や事業者と連携し、瀬戸内を広域周遊する観光プロモーションを国内向けにも実施してまいります。

2016年6月29日・30日

●「せとうちキャンペーン」スタートに合わせ「呉～宮島ブルーライン」新規就航

7月1日～9月30日の間、JR西日本・JR四国が展開する「せとうちキャンペーン」のスタートにあわせ、7月2日～11月27日の間の土日祝、呉港と宮島を高速船で結ぶ「呉～宮島ブルーライン」が就航し、2日に式典が開かれました。呉市・廿日市市の両市長が、挨拶で呉・宮島の両観光地を結ぶ船による新たな周遊ルートへの期待を語り、盛大な銅鑼の音により運航を開始しました。大和ミュージアムのある呉、世界遺産宮島を結ぶ船の就航により、各観光地を周遊するルートが拡充され、船による旅を楽しんでいただけるようになりました。今後とも瀬戸内の最大の資源である海を使った観光促進に取り組んで参ります。

2016年7月2日

●「せとうちキャンペーン」大阪駅でイベントを開催！

7月9日・10日の2日間「せとうちキャンペーン」のオープニングイベントが大阪駅5階時空の広場で開催されました。

各エリアの地元PR隊や観光レディ・ゆるキャラによる地元観光アピールの実施に加え、クイズラリー・抽選会や体験型の「しまなみ海道サイクリングゲーム」などにより、来場されたお客様に瀬戸内の旅行の楽しさをしっかり伝えてきました。また、同キャンペーンと連動して瀬戸内で展開する「ワンピースせとうちスタンプラリー」にちなみ声優のステージやバルーン海賊船の展示など、休日の大阪駅を盛り上げました。今後も様々な機会を通じて瀬戸内の魅力を発信して参ります。

2016年7月9・10日



▲鞆の浦視察の様子



▲テープカット



▲観光レディとゆるキャラが登場

瀬戸内初就航台湾LCCタイガーエア台湾



台湾をベースとする格安航空会社(LCC)のタイガーエア台湾が、7月14日より岡山～台北/桃園線を開設。週3便を運航します。台湾から瀬戸内エリアへのLCC就航は初となることから、機構では対象機の機内広告を活用したプロモーションを実施。機内が瀬戸内色に染まりました。これまで以上に台湾の方にとって身近となる「瀬戸内」への誘客に取り組みます。

2016年7月25日

今月のリッチなひとこと

～これを読めばあなたもリッチになれる～

7月に入って瀬戸内はだいぶ夏らしくなってきましたね。暑い日々が続いている中、皆様はちゃんと水分を摂っていますか？脱水対策をお忘れずに！7月の三連休は愛媛県の内子に行ってきました。おしゃれで日本風の町並みにとても癒された一泊二日。個人的に旅行中はバタバタと観光地を巡るよりも、旅先でゆったりと時を過ごす方が、普段の疲れが取れ、気持ちのいい旅行になると思います。内子では昔の日本の日常風景を再現した観光施設が多く、昔の世界で暮らすように旅ができました。まずまず瀬戸内の様々な魅力と出会いたくなりますね！機会があればぜひ訪れてください～(^^)